

(別紙様式2)

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名：大阪府  
農業委員会名：千早赤阪村 農業委員会

I 農業委員会の状況（令和 3 年 3 月 31 日現在）

1 農業の概要

	田	畑	単位:ha			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	93	107	107	0	0	200
経営耕地面積	29	21	5	17	0	51
遊休農地面積	33	14	14	0	0	47
農地台帳面積	143	60	60	0	0	203

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入  
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	235	農業就業者数	218	認定農業者	12
自給的農家数	150	女性	99	基本構想水準到達者	0
販売農家数	85	40代以下	29	認定新規就農者	7
主業農家数	9	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	2
準主業農家数	14			集落営農経営	0
副業的農家数	64			特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 5 年 7 月 19 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	14	14	3	3	11
認定農業者	—	0			
認定農業者に準ずる者	—	5			
女性	—	1			
40代以下	—	0			
中立委員	—	1			

※ 現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現状 (令和3年 3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	209 ha	29.67 ha	14.2 %
課 題	中山間地域で一筆の面積が狭く、形も未整備の農地が多くあり、効率が悪い為、参入者が少ない。		

※1 管内の農地面積は、前回の活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面  
※2 これまでの集積面積は、前回の活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会  
法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②／①×100)
29 ha	20.7 ha	0.4 ha	71.38 %

※1 集積目標は、前回の活動計画に記載した集積面積を記入  
※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入  
※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	担い手へ集約している農地の面積について引き続き精査し、担い手の更新や新たな担い手の掘り起し活動を行う。
活動実績	村で実施しているいちごの楽園プロジェクトにより、いちごアカデミー卒業生の新規就農が進み、新たな担い手への農地利用集積が行われた。また、その他にも1名の認定新規就農者が就農した。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	担い手への農地の集積状況を再確認した結果、前年の集積面積から減少した
活動に対する評価	新たな担い手への集積は順調に進んでいるため、今後も引き続き村での新規就農を支援していく。

### Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

#### 1 現状及び課題

新規参入の状況	H29年度新規参入者数	H30年度新規参入者数	R1年度新規参入者数
	0 経営体	1 経営体	4 経営体
	H29年度新規参入者が取得した農地面積	H30年度新規参入者が取得した農地面積	R1年度新規参入者が取得した農地面積
	0 ha	0.26 ha	0.79 ha
課 題	農業従事者の減少・高齢化等による耕作放棄地の増加、農地の分散化等が農地の確保や有効利用を図るうえで課題となっている。		

※1 新規参入者数は、前回の活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

#### 2 令和2年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②／①×100
3 経営体	3 経営体	100 %
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④／③×100
1.5 ha	1 ha	66.67 %

※1 参入目標及び参入目標面積は、前回の活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

#### 3 目標の達成に向けた活動

活動計画	関係機関との連携により推進する。また、いちごアカデミー受講生等の新規就農希望者について農地の情報提供等を農業委員会として積極的に実施し、遊休農地解消につなげる。
活動実績	いちごアカデミー卒業生について農地の確保が行え、村での新規就農につながった。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

#### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	参入目標3経営体に対して3経営体が新規に参入したため、順調に参入促進が行えたと評価する。しかしながら、目標面積については下回った。
活動に対する評価	いちごアカデミー卒業生を中心とした新たな担い手への集積は順調に進んでいるため、今後も引き続き村での新規就農を支援していく。

# IV 遊休農地に関する措置に関する評価

## 1 現状及び課題

現状 (令和3年 3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	241.5 ha	47 ha	19.47 %
課 題	遊休農地化及び山林原野化が進行しており、今後対策を講じる必要がある		

※1 管内の農地面積は、前回の活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入  
※2 遊休農地面積は、前回の活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

## 2 令和2年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
2.5 ha	2.68 ha	107.2 %

※1 解消目標は、前回の活動計画に記載した解消面積を記入  
※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

## 3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	農地の利用 状況調査	17 人	7 月 ～ 9 月	10 月 ～ 11 月	
		調査方法	7月から9月にかけて農業委員及び最適化推進委員による農地パトロールを実施する。		
	農地の利用 意向調査	調査実施時期： 1 月 ～ 2 月			
	その他の活動				
活動実績	農地の利用 状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		17 人	10 月 ～ 11 月	11 月 ～ 12 月	
	農地の利用 意向調査	調査実施	1 月 ～ 2 月	調査結果取りまとめ時期	2 月 ～ 3 月
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条	
		調査数： 918 筆	調査数： 446 筆	調査数： 0 筆	
		調査面積 32.5 ha	調査面積 15.6 ha	調査面積 0 ha	
	その他の活動				

## 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	解消面積は達成したが、2号遊休農地は増加した。
活動に対する評価	農地の利用状況調査により正確な遊休農地面積は把握できているため、そのデータを活用して計画的な遊休農地の解消につなげる必要がある。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現状 (令和3年 3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	209 ha	0.4 ha
課 題	農地法を厳守し、厳格な法の執行を行うことにより、違反転用を未然に防止す	

※ 管内の農地面積は、前回の活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、前回の活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和2年度実績

実 績①	増減(B-①)
0.4 ha	0 ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	農地の利用状況調査(農地パトロール)を10月から11月に行い、違反転用の発生防止に努める。
活動実績	9月～11月に農地パトロールを行った。
活動に対する評価	違反転用の解消や早期発見のため、引き続き農地パトロールを実施する。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

## Ⅵ 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

### 1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数  件、うち許可  件及び不許可  件)

点検項目		具体的な内容		
事実関係の確認	実施状況	複数職員による申請書類の確認と、農業委員と事務局で現地調査を実施している。		
	是正措置			
総会等での審議	実施状況			
	是正措置			
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	3	件
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数		件
	是正措置			
審議結果等の公表	実施状況	議事録記載のうえ、農業委員会事務局窓口に備え付けをしている。		
	是正措置			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 28 日	処理期間(平均) 20 日
	是正措置			

### 2 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数  件)

点検項目		具体的な内容		
事実関係の確認	実施状況			
	是正措置			
総会等での審議	実施状況			
	是正措置			
審議結果等の公表	実施状況			
	是正措置			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 日	処理期間(平均) 日
	是正措置			

### 3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況			
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数		2	法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数		1	法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数		0	法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数		0	法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人		0	法人
	提出しなかった理由	不明		
	対応方針	報告書の督促を行い提出を促す。		
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数		0	法人
	対応状況			

## 4 情報の提供等

点検項目		具体的な内容	
貸借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数            39        件	公表時期 令和 3 年 3 月
		情報の提供方法：国・大阪府への情報提供	
	是正措置		
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数      8        件	取りまとめ時期 令和 3 年 3 月
		情報の提供方法：国・大阪府への情報提供	
	是正措置		
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積                                  203                                  ha	
		データ更新：	農地法許可及び届出があれば、定例会後に随時更新を行う。
		公表：	議事録に記載のうえ、農業委員会事務局窓口に備え付けている。
	是正措置		

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

## VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉
	意見なし
	〈対処内容〉

農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉
	意見なし
	〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

## VIII 事務の実施状況の公表等

### 1 総会等の議事録の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

農業委員会事務局窓口に設置

### 2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数  件

提出先及び提出した意見の概要	
----------------	--

### 3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

農業委員会事務局窓口に設置